

諸外国の検査・点検整備制度の概要

1. 欧州諸国の自動車検査の現状

	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン
安全検査の有無				
排出ガス検査の有無				
検査周期 (マイカー)	3 - 1 - 1 -	3 - 2 - 2 -	4 - 2 - 2 -	3 - 2 - 1 - 1 -
バス	1 - 1 - 1 -	1 - 1 - 1 -	0.5 - 0.5 - 0.5 -	1 - 1 - 1 -
トラック (車両総重量 3.5t 以上)	1 - 1 - 1 -	1 - 1 - 1 -	1 - 1 - 1 -	1 - 1 - 1 -
検査手数料 (乗用車の例)	£ 40.75 (8,150 円)	43EUR (5,805 円)	55 (7,425) ~ 68EUR (9,180 円) 法では定められていない	SEK300 (4,350 円)
検査の性格	検査証は検査時点での検査可能な項目に関する車両の状態のみを証明し、以下の事項を証するものではない： ・検査時点以外における検査項目の状態 ・車両の一般的な構造・装置の状態、または ・道路運送車両法の全ての条項との完全な適合性 (出典：The Role of VI： http://www.via.gov.uk/mot/about_the_scheme/vi_role.htm)	車検の性格に対して、以下の確認はとれているが、詳細は調査中である。 その時点における関係法令への適合性を確認している。 有効期間内の安全性などを保障するものではない。	車検の性格に対して、以下の確認はとれているが、詳細は調査中である。 その時点における関係法令への適合性を確認している。 有効期間内の安全性などを保障するものではない。	車検の性格に対して、以下の確認はとれているが、詳細は調査中である。 その時点における関係法令への適合性を確認している。 有効期間内の安全性などを保障するものではない。
検査施設数	The Vehicle Inspectorate (半官半民：バスと車両総重量 3.5t 以上のトラック対象) 91ヶ所 Designated Premise (The Vehicle Inspectorate の検査員が出張して検査を実施する整備工場) (民間 (The Vehicle Inspectorate の認定を受ける)：バスと車両総重量 3.5t 以上のトラック対象) 395ヶ所 MOT ¹ 整備工場 (民間 (国の認定を受ける)：上記以外を対象) 約 18,500ヶ所	DEKRA (民間 (連邦交通庁の認定を受ける)：全ての車種対象) 約 400ヶ所 TÜV (民間 (連邦交通庁の認定を受ける)：全ての車種対象) 172ヶ所 ² TÜV の検査員が出張して検査を実施する修理工場 約 9,000ヶ所 ²	CCV (産業・研究・環境地方局の自動車検査センター) (官：車両総重量 3.5t 以上の大型車両対象) 162ヶ所 小型車両の検査を行う民間施設 (民間 (県の認定を受ける)：上記以外を対象) 5,027ヶ所	AB Bilprovningen (半官半民：全ての車種対象) 180ヶ所
	スイス	ベルギー	イタリア	
安全検査の有無				
排出ガス検査の有無				
検査周期 (マイカー)	4 - 3 - 2 - 2 -	4 - 1 - 1 -	4 - 2 - 2 -	
バス	1 - 1 - 1 -	0.25 - 0.25 - 0.25 -	1 - 1 - 1 -	
トラック (車両総重量 3.5t 以上)	1 - 1 - 1 -	0.5 - 0.5 - 0.5 -	1 - 1 - 1 -	
検査手数料 (乗用車の例)	40(3,440) ~ 75CHF(6,450 円) 州により異なる	24.5EUR(3,308 円)	25.82EUR (3,486 円)	
検査の性格	車検の性格に対して、以下の確認はとれているが、詳細は調査中である。 その時点における関係法令への適合性を確認している。 有効期間内の安全性などを保障するものではない。	車検の性格に対して、以下の確認はとれているが、詳細は調査中である。 その時点における関係法令への適合性を確認している。 有効期間内の安全性などを保障するものではない。	車検の性格に対して、以下の確認はとれているが、詳細は調査中である。 その時点における関係法令への適合性を確認している。 有効期間内の安全性などを保障するものではない。	
検査施設数	ASA (自動車サービス協会) (官：全車種対象) 25 施設 TCS (スイスツーリングクラブ) (民間 (州の認定を受ける)：全車種対象) 14 施設	民間の機関 (民間 (交通省の認証を受ける)：全車種対象) 74ヶ所	Motorizzazione Civile e Trasporti in Concessione (MCTC) (官：全車種対象) 102ヶ所 民間の施設 (民間 (県の交通協会による認定を受ける)：全車種対象) 4,997ヶ所	

注：1 £ = 200 円、1 EUR = 135 円、1 SEK = 14.5 円、1 CHF = 86 円でそれぞれ換算

1：MOT はイギリス車検制度の名称

2：TÜV Rheinland Berlin Brandenburg 及び RW TÜV のみの合計 (TÜV は、他に TÜV Süddeutschland、TÜV NORD、TÜV Thüringen、TÜV Pfalz、TÜV Saarland がある)

2. 欧州諸国の点検整備の現状（自家用乗用車）

	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン
保守管理の義務規定	定期的な点検・整備は法的には義務付けられていない。	「自動車の保有者は、自動車が規則に適合していないことにより自動車の交通の安全が損なわれることを知っているときは、運行してはならない。」との規定がある。 (道路交通許可規則第31条)	「自動車は全ての道路利用者の安全のために、製造、販売、活用、使用、保守管理され、必要であれば修理されるべきである。」との規定がある。 (道路法 L311-1 条)	定期的な点検・整備は法的には義務付けられていない。
点検整備の実施状況	点検・整備制度と検査はリンクしておらず、定期的な点検・整備を実施している人は15%未満。故障、不備などがあつた場合のみディーラー、一般整備工場にもっていく。 (出典：RAC(ロイヤオートモビルクラブ)及びAA(英国自動車連盟)へのヒアリング)	メーカーが推奨している走行距離の基準にしたがって、修理工場で点検をする人が多く、長期旅行の前後に点検・整備を行うことが多い。 (出典：TÜV広報部、DEKRA 広報部、デュッセルドルフ日系自動車コンサルタント会社・修理工場、「ほうじょう」経営者へのヒアリング)	定期的な点検・整備を実施しているユーザーは全体の80%程度ある。 (出典：OTC(自動車技術団体)へのヒアリング)	定期的な点検や整備をしている人は全体の10~20%にすぎないのではないと思われる。自動車工場には個人的な中古車の売買のため証明書を作成することを目的に点検・整備を頼む人が多い。 (出典：自動車修理業者、Bilprovingen のカスタマーサービスへのヒアリング)
年間の点検・整備費用	£ 310 (62,000円) ¹	578EUR(78,030円) ¹	453EUR(61,155円) ¹	62,000円 ²
検査と点検整備の関連	定期的な点検・整備を実施している人の中で検査と併せて行っているのは半分程であり、その80%が検査前に点検・整備を行っている。 (出典：RAC 及び AA へのヒアリング)	検査前には、自分で点検・整備をする人が多い。 (出典：デュッセルドルフ日系自動車コンサルタント会社・修理工場、「ほうじょう」経営者へのヒアリング)	定期的な点検・整備を実施している人の中で検査と併せて行っている人は30%位で検査の前に点検・整備を行っている。 (出典：OTC(自動車技術団体)へのヒアリング)	定期的な点検・整備を実施しているユーザーのうち検査と併せて行っている人は20%、検査前に行っているのは20%。 (出典：自動車修理業者、Bilprovingen のカスタマーサービスへのヒアリング)
点検・整備の実施場所 ¹	一般の整備工場(41.1%)が最も多く、次いでメーカー系ディーラー(32.1%)、自分で(7.3%)となっている。	メーカー系ディーラー(46.1%)が最も多く、次いで一般の整備工場(33.4%)、自分で(7.3%)となっている。	一般の整備工場(36.2%)が最も多く、次いでメーカー系ディーラー(32.1%)、自分で(12.9%)となっている。	本年度アンケート対象外
	スイス	ベルギー	イタリア	
保守管理の義務規定	「車両は規制に適合している状態でのみ使用が認められ、安全確保のために整備されていなければならない。」との規定がある。 (道路交通に関する連邦法第29条)	定期的な点検・整備は法的には義務付けられていない。	「ユーザーは騒音をおさえ、環境へのダメージの少ない排出ガスと安全性の保障された自動車を利用しなければならない」との規定がある。 (道路交通法第80条)	
点検整備の実施状況	定期的な点検・整備を実施しているユーザーは全体の90%程度いる。 (出典：スイス連邦統計局自動車担当へのヒアリング)	定期的な点検・整備を実施しているユーザーは全体の80%程度いる。 (出典：国立統計研究所へのヒアリング)	定期的な点検・整備を実施しているユーザーは10~20%で、長期旅行等の前に行われている。 (出典：ローマの自動車整備士へのヒアリング)	
年間の点検・整備費用	127,000円 ²	109,000円 ²	550EUR(74,250円) ¹	
検査と点検整備の関連	点検・整備は検査と併せて行う義務はない。 (出典：スイス連邦統計局自動車担当へのヒアリング)	点検・整備は検査と併せて行う義務がない。 (出典：国立統計研究所へのヒアリング)	点検・整備は検査と併せて行う義務がない。 (出典：ローマの自動車整備士へのヒアリング)	
点検・整備の実施場所 ¹	本年度アンケート対象外	本年度アンケート対象外	一般の整備工場(51.8%)が最も多く、次いでメーカー系ディーラー(32.4%)となっている。	

注：1 £ = 200 円、1 EUR = 135 円でそれぞれ換算

1：出所は海外自動車検査・整備ユーザーアンケート調査(2003年10月実施)

2：出所は(財)日本自動車輸送技術協会「諸外国における自動車検査・整備に関する調査報告書(平成5年3月)」

3. 米国の自動車検査の現状

		ニューヨーク州	カリフォルニア州	テキサス州
安全検査の有無			調査中	
排出ガス検査の有無				
検査 周期	安全	乗用車 (マイカー)	なし	2 - 1 - 1 -
		バス	調査中	1 - 1 - 1 -
		トラック	調査中	2 - 1 - 1 -
	排出 ガス	乗用車 (マイカー)	4 - 2 - 2 -	2 - 1 - 1 -
		バス	調査中	1 - 1 - 1 -
		トラック	調査中	2 - 1 - 1 -
検査手数料 (乗用車の例)	安全 排出 ガス	\$10(1,100 円) 強化排ガス検査: \$27 (2,835 円) 通常排ガス検査: \$6 (660 円) (注: 強化排ガス検査はNYMAと呼ばれる地域において実施される)	なし 最初の4年間は年間\$4 (440 円) (車の登録時に支払うスモッグフィーの性格) 以降は検査を実施する場所によって違う \$30(3,300 円) ~ \$60(6,600 円)	\$12.5(1,313 円) \$27(2,835 円)
検査の性格	車検の性格に対して、以下の確認はとれているが、詳細は調査中である。その時点における関係法令への適合性を確認している。有効期間内の安全性などを保障するものではない。	車検の性格に対して、以下の確認はとれているが、詳細は調査中である。その時点における関係法令への適合性を確認している。有効期間内の安全性などを保障するものではない。	車検の性格に対して、以下の確認はとれているが、詳細は調査中である。その時点における関係法令への適合性を確認している。有効期間内の安全性などを保障するものではない。	
検査施設数	検査場に関する情報公開は行っていない。 (出典: NY 州自動車部 (DMV) へのヒアリング)	California Highway Patrol (州の機関、商用車): 19 施設 + 重量測定場 35 ケ所 民間の検査場 (自家用車): 8,500 ケ所	約 10,000 ケ所 (出典: テキサス州公共安全省車検・排気ガス検査課へのヒアリング)	

注: \$1=110 円で換算

4. 米国の点検整備の現状 (自家用乗用車)

	ニューヨーク州	カリフォルニア州	テキサス州
保守管理の義務規定	定期的な点検・整備は法的には義務付けられていない。	「安全でない状態の車を使用することは不法である」とされているが、定期的な点検・整備は義務付けられていない。 (出典: California Vehicle Code 24002)	定期的な点検・整備は法的には義務付けられていない。
点検整備の実施状況	自分で行う日常点検を除いてはメーカー系の整備サービス以外あまり実施されていない。 (出典: NYMA の認可検査場へのヒアリング)	定期的な点検・整備を実施しているユーザーは全体の約 85%。時期は一定期間ごとが 55%、走行距離ごとが 45% である。 (出典: 整備士へのヒアリング)	日常的な点検を自分で行う以外には定期的な点検・整備を行うユーザーはほとんどいない。 (出典: Tanaka Motors オーナーヒアリング)
年間の点検・整備費用 ¹	589 \$ (64,790 円)	653 \$ (68,565 円)	552 \$ (57,960 円)
検査と点検整備の関連	点検・整備を検査と併せて行う義務がなく、料金を払って点検・整備のみを整備工場に頼む人はほとんどいない。 (出典: NYMA の認可検査場へのヒアリング)	定期的な点検・整備を実施しているユーザーで検査と併せて行っている人は 10%、検査前に行う人は 5%。検査でチェックしない箇所まで、点検・整備する人は 5% である。 (出典: 整備士へのヒアリング)	点検・整備は検査と併せて行う義務がない。データはないが、不備がない限り点検・整備を行う人は少ない。 (出典: テキサス州公共安全省車検局、車検場である工場へのヒアリング)
点検・整備の実施場所 ¹	一般の整備工場 (39.3%) が最も多く、次いでメーカー系ディーラー (30.3%) となっている。	一般の整備工場 (44.8%) が最も多く、次いでメーカー系ディーラー (27.9%) となっている。	一般の整備工場 (43.7%) が最も多く、次いでメーカー系ディーラー (27.4%) となっている。

注: \$1=110 円で換算

1: 出所は海外自動車検査・整備ユーザーアンケート調査 (2003 年 10 月実施)